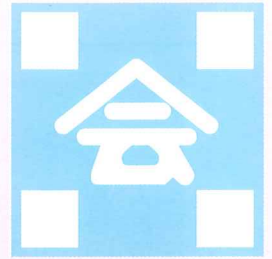


No.80

あゆい



発行 (財) 会 田 病 院

編集 あゆい編集委員会

〒969-0213 西白河郡矢吹町本町216
TEL 0248(42)2121

2009 年 1 月 10 日発行

財団法人 会田病院広報誌

2009 1 月号



【表紙】写真提供 小針 俊一氏
北海道にて

- 年頭のご挨拶 2 P
- 新年を迎えて 3 P
- ようこそ診察室へ 4 P
- バザーを開催して 4 P
- 外来診察担当のご案内 4 P
- 院内各種委員会の一部を紹介 5 P
- インフルエンザについて 6 P

- 福島県地域リハビリテーション研究大会に参加して 6 P
- パートナーシップを開催 7 P
- 退職者への感謝状贈呈 7 P
- 総合消防訓練を実施して 7 P
- 健康によい献立 7 P
- Photo News 8 P
- 編集後記 8 P



年頭のご挨拶

『明るい未来を信じて』

理事長 会田 征彦

新年明けましておめでとうございます。私の祖父である会田道之助が明治時代中期に医院を開業し、数年の休院を経て1946年(昭和21年)に初代理事長 会田宗太郎が東北地方では初の民間による肺結核外科療法専門病院を開設以来、多くの先輩職員からタスキを継いで63年の歴史を刻む事ができましたことに心から感謝申し上げます。

開設者が掲げ灯した全人的医療の信念を守り続けながら、病に苦しみ、救いを求める人々に対し、自分の家族に接する気持ちで診療を続けることで培うことの出来た地域における信頼関係は、何よりも誇れる我々の大切な財産であり、今後も更にこれを大切に育てながら、期待される病院づくりに専心努力する事が求められています。

職員が働きやすく、患者満足度の高いそして良質な医療を安全に効率良く提供できる病院づくりにつとめ、地域社会に貢献するために今年度の改革実現の目標を以下に掲げます。

- 1、安全管理体制確立の推進
- 2、経営基盤の確立による給与制度見直し
- 3、医師及び看護師を含めたメディカルスタッフの人材確保と資質向上対策

- 4、地域医療連携の推進
- 5、院内各部門の横断的連携体制別の確立
- 6、回復期リハビリテーション病棟の検討
- 7、病院のあり方検討(病院機能評価を含む)

長年にわたる医療費抑制政策に臨床研修医制度が拍車を加え、病院勤務医師が極端に減った結果、地域医療は崩壊寸前の状態である。病院にとって冬の時代は今後も続いていくと思われるが、生き残りをかけた職員の意識改革は一步一步着実に進んでいる。救いを求める多くの人々や病院職員そしてその家族を守るために、もう一度それぞれの役割と責任を認識し、信頼に基づいた強固なチーム医療を展開しながら明るい未来を信じて歩んでいきたい。



財団法人

会田病院の理念

かけがえのない、

ひとり一人の

命と健康を守るために、

最良の医療を提供し、

保健・医療・介護・福祉の

充実をはかり、

地域社会に貢献します

会田病院の基本方針

- 一、患者さんを第一に考え、地域の信頼を得る
- 二、基幹病院として、地域と連携を密にする
- 三、医療の安全管理に最大限努力する
- 四、患者さんの権利と、その意思を尊重する
- 五、高い理想を持ちつづけ、自己研鑽を怠らない

2009年

新年を迎えて



年頭にあたって

明けまして、おめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

さて、昨年、米国から広がった百年に一度とされる金融・経済危機をはじめ生活の根幹を揺るがす嵐が吹き荒れています。職場、地域で閉塞感が強まっています。国はこの国の今後の針路をなかなか示せていません。国民はこの様な視野不良の中で、身構え、自衛策に走らざるを得ない状態に陥っています。

医療の世界にも、勿論、この嵐は吹き込んできています。私達の病院も、この嵐の中で後退することなく、地域医療を担っていくかなければなりません。このためにも、病院としての短期ばかりでなく、中長期計画を今年こそは示せないものかと思っています。

そして、全職員の病院への意識を強く持っていたただける様な病院へしていければ良いと考えています。職員の皆様も私達の病院が今後どうあるべきか、どんな意見を出していただきたいと思っています。私も微力ながら力を尽くしていきたいと思っています。

さて、「国力を示すのは教育」と最近言われております。「病院力」を高めるためにも、私個人としては、老骨に鞭打って、牛歩でもいいから、いろいろな勉強をしていきたいと思っています。

今年も頑張りましょう。

副院長 小池 莊介

皆さん 新年あけましておめでとうございます。まず、前回当院には美人はいないと言いましたが良く見ると2人程おりましたすみませんでした。

話は変わりますが色々な人が各部所に就任しますが就任した時点で進歩が停まっている人が多いと感じています。どうかますます自分を磨いて前進して下さい。

それと今後「チーム医療」をテーマにかかげて病院を前進させていきたいと思しますので宜しく御協力の程お願いします。

副院長 畑 穆

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。昨年は医療界を取りまく環境は非常に厳しく特に看護師不足は深刻なものでした。看護協会は、看護職の離職防止、定着していく為の活動として「ワーク・ライフ・バランス」働く人が仕事と生活をバランスよく調和していく為に職場の制度や仕組みをサポートし仕事と生活の両面を充実していく事で、人材の確保を図っていく取組みを推進しております。看護サービス質向上の為に人材確保と定着が重要とされます。看護部としても、働き続けられる職場を構築し、患者様初め皆様に選ばれる病院を目指していきたい。その為には病院の理念・方針に基づき現状の問題を分析し、課題を明らかにし、他部署と連携を図り積極的な活動をしていきたいと考えております。

昨年の看護部活動は初めて院外への看護研究発表、整理整頓5S活動の取組み、ベッドサイドケアの充実、スタッフ欠員や業務多忙な所へのリリーフ体制の構築等と職員一人一人の自律とやる気が感じられた二年でした。

今年も看護職員が一丸となり、目標達成に向け更なる努力をし皆様方に満足して頂ける様なケアを提供したいと思っています。

看護部長 遠山 正子

新年明けましておめでとうございます。

21世紀に夢を膨らませた若い頃。

21世紀になって早9年、あの頃の夢は何だったのだろうか、という事柄ばかりで、又新しい年を迎えました。

社会主義が崩壊して、民主主義と資本主義の時代になり個人の努力と社会的支援の枠組みについて、常に対等に論じられなければならないと思うがそれが出来なくなってきた。

今日の時代に社会的なるものを担うのは社会保障制度だと思います。それを毎年削減していくという政府の方針は、格差をどんどん広げていくばかりで住みよい社会などどこにいくのやら、21世紀に描いていた夢はなんだったのだろう。

しかし私たちの働いている病院は病気で弱っている人達を助ける職業です。

少しでも21世紀に期待していた人達を、21世紀を生きていくうれしさを味わってもらう為に、今年も全職員で努力していきましょう。

事務長 影山 敏男

ようこそ 診察室へ



火曜日と木曜日に
内科外来を担当して
おります森崎です。循
環器(心血管)疾患の
専門ですが当院では内
科一般を広く診療して

おります。患者さんの多くは心臓疾患・高血
圧症・糖尿病・高脂血症ですが、その他様々な
病気や個人的要望にお答えすべく日々奮闘
しております。そんな中、ある患者さんの訴え
をきっかけに会田院長のご好意の下、火曜日
午後には巻き爪(陥入爪)の治療を始める事に
なりました。巻き爪とは主に足の親指の爪の
両端がUの字や視力検査のランドルト環(輪の
一部に切れ目が入った記号)のようになった状態
の事です。すなわち足の親指の爪が内側に巻
いた状態の事で、爪の角がトゲのように親指の
肉に食い込んだ場合には強い痛みが出現しま
す。この度、当院で開始された治療法は爪の
白い部分の両端に穴を開け、形状記憶合金で
できたワイヤーを通して丸まった爪を本来の平
らな形に戻してゆくといった方法です。爪の形
が元の平らな形に戻っていくので人によって軽
い違和感がでる場合がありますが基本的に爪
の白い部分に穴を開ける方法なので治療時の
痛みはありません。足の指の爪に問題を抱え
ていらっしゃる方は一度内科外来にてご相談い
ただければと存じます。

内科医師 森崎

倫彦

バザーを開催して



会田病院看護 部主催の「歳末助
け合いバザー」、第
三回目が十二月十
二日(金)地域連携
室において開催さ
れました。院長を
始め職員の方々の
御協力のもと、食
器類、衣類、コーヒ
ー、ぬいぐるみ、会田
通所リハビリテーシ
ョンの利用者が作っ
た大根など、六〇〇点を越える出品がありま
した。そして、その出品を外来、病棟患者様、地
域の方、職員の方々にお買い上げいただき、大
好評に終了し、四九、七五円の収益となりました。
この収益金は前年同様、矢吹町社会福祉
協議会へ寄付し、福祉のために利用していただ
く事になっております。

さて、地域の方々から、「今年はバザーはいつで
すか?自宅から出品してもよいですか」の電話
や、実際に買っていた方から「来年はうち
にあるのもバザーに出して利用してほしい」、「と
ても安くて来年もやってほしい」などの声がき
かれました。次年度検討していきたいと思いま
す。御協力いただきました方々に深く御礼を
申し上げます。ありがとうございました。

イベント委員長 佐久間 十紀子

平成20年12月1日現在

外来診察 担当のご案内

受付時間

平日

午前8:30~11:30

午後1:00~ 4:30

土曜

午前8:30~11:30

送迎バス 電話予約時間帯

月~金 9:00~16:00

土 9:00~12:00

TEL

0248 (42) 2121

※前日迄にお願いします。

科	曜日	月	火	水	木	金	土	備考
内科	1診	小池(荘)	森 崎	小池(大)	森 崎	小池(荘)	小池(荘)	
消化器科	2診				草 野			草野医師 月1回
呼吸器科	3診	会田(征)	会田(征)	垣 花	白 田	畑	高崎/畑	
心療内科	午前				野 村			野村医師 月2回
外科	午前	古 河	福島医大	福島医大	古 河	古河/福島医大	古 河	
総合診療	午後	山田/片場(嘉)	森 崎	福島医大/星野	森 崎	福島医大/高崎		
整形外科	午前	長谷川	湯 澤			会田(北)		
	午後							
眼 科		山 下	石 丸			須 田		
泌 尿 器 科		福島医大						
脳神経外科			伊 澤					
皮 膚 科				水 上				
婦 人 科		高 崎		高 崎				
形 成 外 科		上 田						
リハビリテーション科		佐々木/真野	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	



院内各種委員会の一部を紹介

「院内感染対策委員会」

当院の院内感染対策委員会は会田院長を委員長とし、各科代表の17名で構成されており、月1回定期的に開催しています。

院内感染とは、患者様に原疾病以外に新たな感染を成立させた場合、また職員が医療従事により感染した場合を言いますが、当委員会は「このような事態をどうしたら妨げるか、発生した場合どうしたら最小限に食い止められるか」を話し合い、対策を考えています。

このための委員会の主な活動として①院内巡視と職員の感染対策に関する意識調査の実施②委員会での患者様の細菌検査結果報告③院内研修会の開催④院外研修会の積極的参加⑤マニュアルの見直し⑥職員への感染情報の発信⑦職業感染対策としてリキヤップ禁止の呼びかけ・安全器具の採用・ワクチン接種の推奨などを行なっています。

対策を進めていく上で重要なのが予防策です。標準予防策・感染経路別予防策は常に意識して行動しなければなりません。

また、それを大多数の職員が遵守しても、一人でも遵守しない職員がいれば、患者様に感染させてしまうかもしれない事を忘れず、本来治療目的で入院した患者様が病院で新たな感染を受ける事のない様、全職員が予防策を遵守する様努力していきたいです。

事務局 掘金 博子

「褥瘡対策委員会」

新年あけまして おめでとーございます。

褥瘡(じよくそう)委員会での活動内容を紹介します。

褥瘡とは、長期間ベッドに寝ている患者さんや車イスを利用している患者さんに多くみられる、いわゆる「床ずれ」と呼ばれるものです。褥瘡の原因として、長時間の圧迫とズレにより生じる力が最大の原因ですが、これらに加えて、栄養状態、関節変形、拘縮、運動能力の低下といった様々な要因が絡みあって悪化する為、治療には多面からのアプローチが必要となります。

褥瘡委員会では、褥瘡発生リスクの高い患者さんの予防・ケア、また褥瘡保有患者さんのケアや治療をどのように実施すべきかなどを毎月第二水曜日に、皮膚科水上先生を中心に、看護師、コメディカル部門との連携を図り、病棟回診を行い、ベッドサイドで患者様の褥瘡経過や栄養状態、誘因となる事等のカンファレンスをしております。

近年高齢化する入院患者様がが増えていく中で、褥瘡発生の予防・治療・ケアにおける、さらなる取組みをし「褥瘡発生0」を目指し、今年も畑医師委員長を中心とした委員会活動をしていきたいと思っております。

事務局 矢部 洋子



「医療安全管理委員会」

医療安全について

医療事故が社会問題として取り上げられ、人々の注目を集め始めてから久しくなりますが、未だ医療事故がなくなる気配は見えず、産科医師不足の問題等、医療への影響が大きくなっています。

安全という言葉は、交通安全、職場安全、騒がれたばかりの食の安全等さまざまな分野で叫ばれ、人々の安全が脅かされるようなことが発生しますと、マスコミによる報道、関係役所の監督等により厳しく是正策が取られて来ましたが、

医療安全はどうでしょうか、医療安全が叫ばれてからまだ日が浅く、その取り組みはまだまだ途上段階のように思えます。

医療の安全を確保するためには何が必要なのでしょう、車を運転する時には交通法規を守ることにより事故が防止されています。医療ではこの交通法規にあたる規則は何にあたるのでしょうか、各職場で作られた安全のためのマニュアル、作業手順等の規則がそれにあたると思われ、マニュアル、作業手順を遵守することが医療の安全を確保する第一歩であると考えます。

しかし、簡単そうに思えるマニュアル、作業手順の遵守は日々の努力なくしては達成されず、毎日、毎日の繰り返しに身が染み付いた本物のマニュアル、作業手順となっていくように思います。

病を治療して健康を取り戻すべき病院で医療事故が起こることのない様に病院全体で医療安全に取り組みなければなりません。

「ローマは一日にしてならず。」と同じく、「医療安全は一日してならず。」です。これからも全職員が日々医療安全に取り組んで行く事を希望します。

医療安全委員 齋須 敏栄

「栄養管理委員会」

あけまして おめでとーございます。

患者様への安全で適正な食事を提供する為という趣旨の下、古河先生を委員長とし看護部長各病棟看護師、看護補助者、言語聴覚士、事務職員、栄養士というメンバー構成にて月一回、第三水曜日に開催しています。

当病院の患者層も高齢化し患者様一人一人にあった、食形態を把握し提供する事が、サービスの一貫であり、同時に、治療効果が繋がっていく事だと思えます。

患者様にとって最も良い栄養摂取方法を選択し、最良の食環境へ、他方面から導きだすため、些細な問題点も話し合える様な栄養管理委員会を目指していきたいと思えます。

又、今年、栄養チームを発足しNST(栄養サポートチーム)稼働への準備段階として尚一層、充実した栄養管理委員会にしたいと思えます。

事務局 吉田 寿美江



インフルエンザについて

●「インフルエンザの症状」

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、あわせて普通のかぜと同様の、のどの痛み、鼻汁などの症状も見られます。高齢者や、呼吸器や心臓などに慢性的の病気を持つ人は、症状が重くなり、肺炎を併発したり、小児では中耳炎、熱性けいれんなど合併症を起こすこともあります。

また、インフルエンザは、伝染力が強く、毎年国民の5〜10%程度の人々がかかり、亡くなられる方もいます。

●「インフルエンザの種類」

インフルエンザは、A型、B型、C型に大きく分類されます。普通インフルエンザといえばA型とB型のことです。A型には香港型インフルエンザとソ連型インフルエンザの2つのタイプがあります。

●「インフルエンザの予防」

予防の基本は、流行前にワクチン接種を受けることです。インフルエンザは、発症した人の咳、くしゃみなどの飛沫と共に放出され

たウイルスを、気道に吸入することによって感染します（飛沫感染）。

インフルエンザが流行してきたら、特に高齢者や慢性疾患を持つている人は、人混みや繁華街への外出を控え、外出時にはマスクを利用したり、室内では加湿器などを使って適度な湿度（50〜60%）を保ちましょう。体力や抵抗力を高め、バランスよく栄養をとることも大切です。帰宅時のうがい、手洗いや励行しましょう。

●「インフルエンザにかかったら」

単なるかぜだと軽く考えずに、早めに医療機関を受診してアドバイスを受けましょう。安静にして、睡眠を十分にとり水分を補給しましょう。インフルエンザウイルスに対する治療薬の抗ウイルス薬は、医療機関で診察の上で使用できますが、十分に医師に相談することが重要です。



薬剤科科長 吉岡 正明

— 感染症情報センターDSCより引用 —

第3回

福島県地域リハビリテーション研究大会に参加して

去る12月13日、福島県立医科大学にて地域リハビリテーション研究大会が開催されました。私はその中で「お口の元気あつぷ教室を実施して」という演題で発表させていただきました。「お口の元気あつぷ教室」とは当院で定期的に実施している、特定

ではなく地域との連携をとる事の大切さを改めて実感することが出来ました。今後も「お口の元気あつぷ教室」を通して少しでも地域住民の方々へ貢献することが出来ればと思います。

リハビリテーション科

言語聴覚士 星 美和

目的とした介護予防事業です。今回の発表では、参加者の協力のもと、教室の事業内容と3か月間の事業効果について発表いたしました。今回の研究大会に参加したことで、健康な生活を送る上で口腔機能は重要な役割を果たしているということを再認識するとともに、病院内だけ



パートナードッグを開催

パートナードッグに参加して皆さんそわそわしながら会場に集合した。前々日ころより出席確認を行ったが、「犬が来るのか」と話をしただけで皆、表情が和らぐ様子があつたが、どうでしょう。本物の犬を見たときにパッと花が咲いたかのような優しい笑顔になり、何やら各々で犬に話しかけていました。最も印象に残っているのは、寝たきりで、ほとんど声を出す事の出来ない患者様が、大きな犬には手をひっこめて、小さな犬には自ら手を伸ばしきすつていたのです。又、普段ほとんど声かけてもめ

たに返答しない患者様は、「ゴロー、クロは黒いからクロ」なんて説明までしてくれて、会場は皆の笑顔と笑い声で賑わいました。患者様と二緒になつて職員も、いえ職員の方がもつと犬たちに癒されていたかも知れません。

動物がもたらす癒し効果は、本当に人を暖かく優しく包んでくれるような気がします。私はあの時の皆の笑顔が素晴らしいです。参加出来て良かったです。

6病棟 本田 真純



退職者への感謝状贈呈

永い間
ご苦労様でした



飯島 富美子さん



小針 千枝子さん



高橋 ユキエさん

総合消防訓練を実施して

去る十一月六日(木)午後二時より、矢吹消防署立ち会いのもと、秋季総合自衛消防訓練を行いました。

深夜二時に五病棟洗濯室より乾燥機内部発火による不慮の火災発生を想定し、洗濯室低温熱感知器作動後、火災に気づき、初期消火、院内報知・消防署への通報・避難誘導という流れで行い、その後、放水訓練・消火器訓練を実施しました。

訓練講評としては、初期消火・通報・避難誘導などは迅速に行われたが、職員間の伝達や患者様へのかけ声が小さいという点が指摘事項として挙げられました。

今年は、昨年の反省点を改善すると共に、消防設備使用方法等のマニュアルを作成・見直しを行い、より一層患者様の安全確保を第一に、正確・迅速な対応をとれるような流れを考えていきたいと思っています。

総務課 鈴木 博之



健康によい献立 栄養科

きのこと長芋のグラタン

きのこ類からは食物繊維が、牛乳とチーズからはカルシウムが摂取できます。便秘の予防・改善と骨や歯の健康のために効果的なメニューです。

また、長芋にも食物繊維が含まれ、大腸がんの予防に効果があります。さらには、消化酵素が豊富なので、いっしょに食べたほかの栄養素の消化吸収も助けます。

【材料】

(4人分)

・しめじ……………160g
・しいたけ……………60g
・長いも……………140g
・玉ねぎ……………60g

ホワイトソース
・バター・小麦粉 各小さじ4
・牛乳……………500ml
・塩・こしょう……………少々
・粉チーズ……………大さじ4
・バター……………小さじ2

【作り方】

- ①長芋は皮をむき、5mm厚さのいちょう切りにする。しめじは半分に切りほぐす。しいたけは1cm角に切り、玉ねぎは薄切りにする。
- ②ホワイトソースを作る。
鍋にバターを溶かして、小麦粉を炒める。温めた牛乳を少量ずつ加えてなめらかに混ぜ、塩・こしょうを加え、7～8分煮る。
- ③フライパンにバターを溶かし、玉ねぎを炒め、しめじ、しいたけ、長芋を加えて火が通るまで炒める。
- ④③とホワイトソースを混ぜてグラタン皿に入れ、粉チーズを振りかけて200℃のオーブンで15～20分焼く。



Photo News



11/18(火)
矢吹小学校児童ボランティア



12/2(火)
医療安全研修会



12/10(水)
3・6病棟・リハビリ科合同クリスマス会



12/24(水)
矢吹小学校吹奏楽演奏会



12/18(木)
交友会・忘年会



12/24(水)
あいだ保育園クリスマス会



財団法人
会田病院
The Foundation Aida Hospital

理事長・院長 会田 征彦

■併設

健診センター

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町216
TEL 0248 (42) 3592
FAX 0248 (42) 2226

■併設

すみれ訪問看護 ステーション

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町216
TEL 0248 (44) 2566 (本部)

指定居宅療養管理指導
事業所(往診)

TEL 0248 (42) 5407

■併設

すみれ介護相談 センター

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町216
TEL 0248 (42) 3755

■併設

会田病院 ヘルパーサービス

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町216
TEL 0248 (42) 2305

■併設

会田通所 リハビリテーション

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町260
TEL 0248 (42) 2260
FAX 0248 (42) 2135

新年、あけましておめでとうござい
ます。昨年は、年金、株や就職内定取
り消し問題など、何かと不安なニュース
が多い一年でした。昨年の清水寺での
世相を表す漢字は「変」の文字でした。
来年はいい年に変えたいとの気持ちを
込めた願いです。あなたはどの様な年
でしたか？私は仕事と研修会、勉強会
で学ばべき事がたくさんあり、無我夢
中で過ぎた一年でした。今年はそれを
生かして、もっと活気ある一年になるよ
うにしたいです。みなさんはいかがでし
たか？
年々、雪の量は減ってきていますが、
その分寒さが厳しくなっているように
感じています。冬のスポーツを楽しむ人
達もそうでない人も、こたつの暖かさか
ら離れられなくなっているませんか？今
年のお正月休みは例年より長いと聞い
ています。どんな過ごし方をされるの
でしょうか？子供と一緒に凧あげ、竹馬
などいかがでしょうか。寒くても体を
動かし心も体も温めて、カゼをひかない
ようにお過ごし下さい。
今年、笑う門には福来ると言う
ように、笑いの絶えない一年にしたいも
のです。(^^)

(M.T.)

編集後記



平成20年度
永年勤続者表彰

すみれ訪問看護ステーション
金沢 幸子さん